

地域医療連携総合センターだより

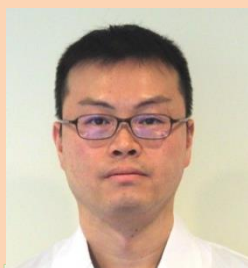
No.69

- I. 脱臼リスクの少ない「前方進入法手術」について
- II. MRI装置の更新について
- III. 内科外来完全紹介制の導入について
- IV. 今後のイベント開催予定について



発行: 2019. 11 釧路労災病院地域医療連携総合センター

脱臼リスクの少ない「前方進入法手術」



整形外科 部長

関節鏡・

人工関節センター長

加藤 琢磨

当院の整形外科は日本整形外科学会認定専門医である脊椎、上肢、下肢の各分野担当者を中心に専門的な診療を行っております。私の担当分野は下肢の変性疾患、外傷症例で、北海道大学病院をはじめ全道各地の医療機関で勤務した経験をもとに診療を行っております。なかでも、救急診療で症例数の多い大腿骨近位部骨折に対する人工大腿骨頭挿入術、乳幼児期の股関節形成不全に起因する二次性変形性股関節症に対する人工股関節全置換術は、特段の事情がない限り、脱臼率の少ない前方進入法で手術を行っております。

従来多くの施設で行なわれていた後方進入法では、短外旋筋群を切離、手術終時に再縫合しますが、再縫合された筋は早期に断裂していることが報告されており、脱臼に注意した生活を送ることが必要でした。当科で行っている前方進入法は、脱臼に配慮した姿勢や行動をとる必要がほぼないため、特に制限事項のない生活を送ることができます。さらに筋肉を切離さないため術後の離床が早く、早期での立位、歩行が可能となります。また、変形性膝関節症、特発性膝骨壊死により生じた荷重時痛で歩行が制限され、保存療法で効果が得られない場合の人工膝関節全置換術も行っており、さらに長期経過後に感染、インプラントの弛み、破損が生じた症例に対する再置換術も行っています。

スポーツ外傷に対する最先端の関節鏡手術も北海道大学スポーツ医学診療科の支援を得て実施しています。また、数は少ないですが、外反母趾や扁平足などの足部疾患に対しても、装具、保存療法が無効な症例においては手術を行っています。釧路地域は広大な面積の割に医療機関や医師の数が少なく、診療を受けることさえ困難な場合も多いと聞きます。我々も可能な限り柔軟な対応で診療にあたり、地域医療に貢献させていただきたいと考えておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

～整形外科/関節外来の診療日について～



・関節外来 毎週月曜日、火曜日、金曜日 8:15～11:00(受付時間)

・お問合せ先: 釧路労災病院 地域医療連携総合センター

0154-32-3464(地域医療連携総合センター直通)

※整形外科は月曜日～金曜日 8:15～11:00 受付時間(土日、祝日、年末年始除く)

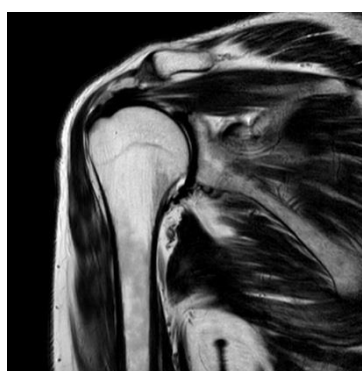
MRI装置を更新しました

今年10月、昨年に続き2年連続でMRI装置を更新いたしました。装置自体のスペックやデジタル技術の向上により、これまでの装置よりも全ての撮像領域において画質が向上し、その恩恵や新しい技術を利用してこれまでよりも短時間での検査が可能となりました。

これまでは、撮像不可能であった様々な領域の血管および神経イメージングや全身のがん検索などが侵襲性なくできることとなりクオリティの高い検査の提供が可能となります。

また、ソフト及びハードウェアの進歩により静音化撮像が可能となり、検査室内の開放性も向上しました。昨年導入した装置よりも寝台の幅や撮像空間(トンネル様)が広がったことで体格の大きい方、閉所の苦手な方などのストレス緩和が期待されます。

当院は地域医療支援病院であるため、紹介患者に対する医療提供、高額医療機器の共同利用等を通じて、かかりつけ医等を支援させていただき、地域医療に貢献させていただきます。



内科外来「完全紹介制」の導入について

外来診療時間の短縮と予定されている検査・治療等に遅延がないように進めるため、12月2日(月)から内科の新患受付は完全紹介制とさせていただきますのでご了承ください。

※完全紹介制とは受診時にかかりつけ医等からの紹介状が必要な制度です。

今後のイベント開催予定

師走講演会〈一般市民向け〉

日時: 令和元年12月8日(日)15:00~17:30【開場14:30】

場所: 釧路労災病院 3階講堂

講演 UPDATE! 話そう、HIV/エイズのとなりで
~HIV検査・治療と生活~

特別講師: 日本エイズ学会理事 生島 嗣 氏

イル活・ケニア活動報告会

主催: イルファア釧路 共催: 釧路労災病院 後援: 釧路市医師会
※入場無料

クリスマスコンサート

日時: 令和元年12月18日(水)15:30~16:00

場所: 釧路労災病院 1階ホール

演奏 PUBU with MEGU

※入場無料

